

ジャマイカ政治・経済月間情勢（2021年4月）

【要旨】

経済では、ジャマイカの最新予測成長率の発表があり、2021年の成長率は1.5%と予測され、昨年10月に予測された3.6%より下落した。外交においては、国連事務総長より、ジャマイカのコートネイ・ラトレイ国連常駐代表が後発開発途上国、内陸開発途上国及び小島嶼開発途上国の上級代表に指名された。日・ジャマイカ関係では、日本政府はジャマイカのワクチンプログラムに対し122万米ドルのワールドチェーン支援を発表した。新型コロナウイルス関連では、13日付けで、ジャマイカの新型コロナへの集団免疫獲得達成数の7%にあたる135,473人が第1回目のワクチン接種を完了した。

1 内政

議員による女性暴行問題

ホルネス首相は20日上院にて、国内で発生している女性及び子どもに対する暴力を非難した。首相は、4月中旬に発生したジョージ・ライト議員による女性への暴行事件に関し、同議員は上院を休職する旨を報告した。（21日付広報局）

2 経済

（1） 経済動向

ア ジャマイカ統計局によると、2020年度のジャマイカの粗付加価値は9.9%減少したと概算されている。（2日付オブザーバー紙）

イ 6日、IMFによるジャマイカの最新予測成長率の発表があった。2021年の成長率は1.5%と予測され、昨年10月に予測された3.6%から減少が見られたのは、観光業の回復が予想よりも遅れていることが理由に挙げられた。（7日付グリーナー紙）

ウ ジャマイカ統計局は、2020年度の輸入に係る支出は26.4%減少した旨報告した。（16日付オブザーバー紙）

（2） クルーズ船の運航再開

バートレット観光大臣は6日、ジャマイカの観光業界は、8月のクルーズ船の運航再開予定に先立ち、ジャマイカをノルウェー・クルーズ・ライン会社のクルーズ船の母港にする計画を最終調整している旨、発表した。（7日付オブザーバー紙）

（3） コーヒーの値上がり

コーヒー農家は現在一箱につき2020年の収益の倍である6,500ドルの収益を得ているが、3倍の収益を求める農家もいる。日本はジャマイカのコーヒーの約70%を消費しているが、今季はジャマイカ国内の生産が減少している。日本の安定的な需要と、供給

の減少により、昨年の一箱3,000ドルから値上げした。(7日付グリーンナー紙)

(4) 東京五輪出場選手への支援

グランジ文化・ジェンダー・芸能・スポーツ大臣は、東京オリンピック・パラリンピック大会に向けて準備を行う選手への4,500万ドルの直接的な経済的支援を再開すると発表した。水泳、ラグビー、体操、ボクシング、空手、陸上競技の6競技の選手に数日中に支払われる。(9日付グリーンナー紙)

3 外交

(1) 韓国による支援

韓国はジャマイカに対し、人道的支援として20万米ドル相当のPCR検査キット及び自動抽出キット等の備品を贈与する。(10日付オブザーバー紙)

(2) セントビンセント及びグレナディーン諸島への災害支援

マッケンジー地方政府大臣は、火山の噴火により被害を受けているセントビンセント及びグレナディーン諸島への支援として、専用の銀行口座を開設し、寄付金を募っている旨発表した。(14日付グリーンナー紙)

(3) 国連／国際機関とジャマイカ

ア FAOは、国際海事機関(IMO)及び世界30ヶ国と連携し、GloLitterパートナーシッププロジェクトとして海ごみ問題及び世界の海洋清掃に取り組む。ジャマイカを含む10ヶ国が同プロジェクトのリード・パートナーリング国(LPCs)として選ばれた。(14日付オブザーバー紙)

イ アントニオ・グテーレス国連事務総長は26日、後発開発途上国、内陸開発途上国及び小島嶼開発途上国の上級代表として、ジャマイカのコートネイ・ラトレイ国連常駐代表を指名することを発表した。(26日付オブザーバー)

(4) 野党、中国との貿易拡大要求

リサ・ハナ野党スポークスパーソンは政府に対し、中国との貿易を拡大し、アジア市場においてジャマイカをより消費者になじみのある国にすべきであると指摘した。同氏は、コロナ禍においてもジャマイカを支援した日本はじめその他の国々に対し感謝の意を表した。(21日付アワー・トゥデイ)

(5) 気候首脳サミット

ホルネス首相は22日、2日間にわたるオンライン気候首脳サミットでの開会において、ジャマイカは2030年までに温室効果ガスの排出を60%削減することを目指す

調した。(23日付広報局)

(6) 観光大臣ハイレベル会議

バートレット観光大臣は28日、メキシコ・カンクンにてカリブ地域の観光大臣と共にハイレベル会議を開催し、複数目的地観光枠組みの実施に伴う最終調整及び受け入れの強化への同意について協議を行なった。同協議には、メキシコ、ジャマイカ、ドミニカ共和国、パナマ及びキューバ等が出席した。(28日付広報局)

4 日・ジャマイカ関係

日本政府による寄付

日本政府はUNICEFを通し、ジャマイカのワクチンプログラムに対し122万米ドルのコールドチェーン支援を発表した。支援金は、冷蔵保管施設などのコールドチェーンに係る機材購入、ジャマイカにおける新型コロナワクチンへの公正な配給支援のための能力強化及びワクチン暫定計画の強化に割り当てられる。(30日付オブザーバー紙)

5 新型コロナウイルス関連

(1) ワクチン関連

- ア ジャマイカはこの後数週間で、アフリカ医療支援プラットフォーム(AMSP)よりアストラゼネカ75,000回分、COVAXよりアストラゼネカ26,000回分の新型コロナワクチンを受領予定であり、またコマーシャルベースで、モデルナワクチン2,000回分の購入を予定している。(1日付保健省発表)
 - イ 保健省は3日、75歳以上の高齢者を対象に、第2回目のアストラゼネカ製ワクチン接種を実施した。また、60歳以上の1,038人が1回目の接種を受けた。(4日付保健省発表)
 - ウ 13日付けで、ジャマイカの新型コロナへの集団免疫獲得達成数の7%にあたる135,473人が第1回目のワクチン接種を完了した。(15日付グリーンナー紙)
 - エ ニューヨークタイムズの新型コロナワクチン追跡データによると、ジャマイカは総数135,473回分のワクチン接種を行ったが、これは人口100人あたり4.6回分にすぎず、カリブ地域英語圏で、最下位であることが明らかになった。世界全体ではジャマイカは157カ国中84位。(19日付グリーンナー紙)
- (2) 検査能力の強化
- タフトン保健大臣は、政府は新型コロナ変異株に係る国内での検査能力を強化する旨を発表した。CDC及び米国政府により、国立保健研究所へ35万米ドルの資金援助が行われる。(23日付広報局)
- (3) 英国からの渡航禁止令の解除

5月1日、英国からジャマイカへの渡航禁止令が解除される。(30日付広報局)

この資料は、ジャマイカの政治・経済情勢を中心に各種報道・発表をとりまとめたものですので、記載事項の信憑性まで確認したものではありません。

記載事項は、在ジャマイカ日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。